

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のためのフリーペーパー

いきいき♪

# 生き生き ふるさと通信

第51号 2017年 4月 1日発行【真田地域に全戸配布】

## Facebook

はじめました！

ホームページからみてね  
<http://www.azarean.jp>



ある日の【新田の家】でのひとコマです。



## 小規模多機能型居宅介護 **新田の家** (新田自治会)

おばあちゃんとお孫さんのようですよ。

実はご利用者様と職員のお子さんです。

アザレアンは、子連れ出勤も可能です。長期休みなどには、子供たちの声が響きます。

新田の家は、NPO「新田の風」の皆さんにお世話になっています。

詳しくは、アザレアンさんだのホームページをご覧ください。





## 真田町の社長さん 第23回

### 有限会社 正木本家 様の巻

今回の社長さんは・・・有限会社正木本家の取締役社長 正木一矢さん（37）です。

正木さんは菅平高原で六代目として「四季の宿 まさき」をご家族で営む傍ら、自家農場の「正木農場」で野菜作りをしていらっしゃいます。

白い雪・青い空をバックに、すっきりとした外観の宿に伺うと、爽やかな笑顔で迎えて下さったのがご主人の正木一矢さんでした。この冬も週末はほぼ空室のない状態とか。「今は口コミや紹介でみえたお客様で、ゆったりとした雰囲気です。」お客様のニーズに応え、シャワートイレや加湿器をいれたり、少しずつ改築をしながら快適な空間作りを心掛けているのだそう。樹のぬくもりに包まれたロビーでお話をうかがいました。



家庭では男の子2人、女の子1人の3人のパパ。手に持っていらっしゃるのが「佐久乃花 山麩純米吟醸 正木米」

上田で飲食店勤務でいらした一矢さんが、急に亡くなられた叔母様の代わりにと、お母様と宿の経営を始められたのは20歳の頃。お手伝いをした事はあっても、実質的な宿のやりくりに関しては全くの手さぐり状態。最初の3年ほどは叔母様の残された情報を元に、固定のお客様の対応に必死だったそうです。

農業にしてもトラクターの使い方が分らず、ご親戚や友人にも教えていただきーからの出発。時には見かねた？通りすがりのおじいちゃまに機械の操作方法を教えていただいた事もあるそうです。土をおこし、種を蒔いて野菜が実る喜び・・・試行錯誤しながら種類を少しずつ増やし。その頃からふと、それまでのメニューに疑問を持たれたのだそうです。信州には地産の美味しい魚（鯉や信州サーモンなど）があるのに、なぜイカやマグロの刺身を出しているのだろう・・・？素朴な疑問から料理人としての新たな取り組みが始まったのでした。

土づくりにこだわり愛情をかけて育てた野菜を、心をこめて料理に仕上げる一矢さん。「生産者と料理人のどちらの気持ちもわかりますから。」農業との二足のわらじ、材料を厳選した工夫の料理。「大変とは思わなかったですね。周りに助けてくれる人たちがいましたし。」何度もおっしゃっていたのが、周囲の方々への感謝と尊敬の言葉でした。



そのお一人、一矢さんに日本酒の魅力を教えて下さったのは、おじい様同士がお友達だった「宮島酒店」の社長さんだったそうです。元々は日本酒を飲まなかったのだそうですが、地酒を揃えてらした宮島様に導かれるように信州の地酒の探究者になっていったのです。それと共に、様々な「素材」との出会いもありました。

頑張っている方の周りには頑張っている方たちが集まるのでしょうか。もっともご本人たちはご自身で「頑張っている」とはおっしゃらないかもしれません。一矢さんも「子どもと一緒になんです。うまくいかない事も楽しんでいる・・・失敗を恐れない、というのとは違いますね、失敗しない為の努力と準備をしますから。」「大変な分、喜びや楽しさも2倍ですし。」と穏やかに熱意を込めて話されていました。

「素晴らしい食材のためにすごく頑張っている仲間たち」がいるから、その食材（地鶏真田丸、太郎ポークや峯村牛他、地域の生産者の食材）を大切に料理し、美味しさを知って欲しい、と各地のイベントに参加する一方、ご自身で作られた野菜は、品質の良さを認められ東京や市内の飲食店に直売してらっしゃるそうです。「嬉しいですよ、使っていただけるのは。生産者としても。」

野菜だけではなく、一昨年からは蔵元さんからのリクエストに応え、ついにお米まで作り始めたそう！！そこで乞われるままに稲作に挑戦されてしまうのが一矢さんの柔軟さ？できないとしり込みするのではなくやってみる、脈々と内を流れるフロンティアスピリット・・・いまどきあまり使われない言葉？・・・なのでしょう。

長野県で作られた米「風さやか」と酒米作りから更に広がる世界。まずは地酒の誕生！自家製米のお味噌・・・「真田でも、お米作りを続けるのは大変だけれど田んぼを荒らしてしまうのは悲しい、という話を聞きます。少しでもそんな方たちの手助けができるなら。」これからも少しずつ作付面積を増やしなが、地域産業の可能性を見出しつつ、ひいては【真田産】というブランディングに繋げていければ。しっかり先をみつめてらっしゃいます。その原動力になっているのは「お世話になった方たちや地域の役に立てればと思っ。」自分の仕事が他の人の仕事の糧になればともおっしゃっていました。

※次の社長さんもお楽しみに～



宿のお食事処には、お付き合いの広さを物語るように、酒蔵さんの前掛けや各地イベントでの写真が飾られています。



限られた紙面では紹介しきれない魅力はホームページ・ブログでご確認下さい。  
HP <http://masakihonke.com> 公式ブログ「正木さんちの回覧板」

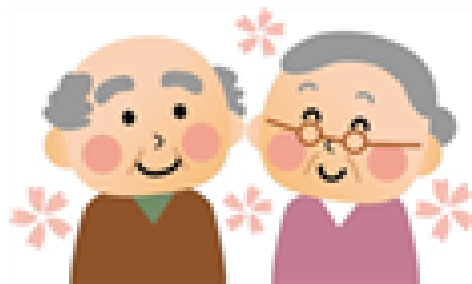
# 真田地域包括支援センターだより

平成 29 年 4 月



## <職員紹介>

新しい職員を紹介します。  
よろしくお願いたします。  
社会福祉士：茅野菜美子



## 認知症サポーター養成講座

H28 年 10 月、荒井地区で開催しました。  
認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。  
真田包括では、随時、認知症サポーター養成講座の開催を希望する団体を募集しています。  
地域の皆さんもサポーターになりませんか？  
詳しくは、真田包括にお問い合わせください。



笑顔で元気！



真田地域包括支援センターでは、高齢者の方を対象に引き続き介護予防を目的とした、楽しみながら運動できる教室を開催します。  
大勢の方の参加をお待ちしています。

日時：毎月第 2 木曜日 10:45~11:45

会場：真田総合福祉センター

参加費：100 円（保険代）

※曜日が木曜日に変更になりました！

真田地域包括支援センター TEL 72-8055 有線 2080（真田総合福祉センター内）

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」広報委員会  
〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111  
ホームページ <http://www.azarean.jp>

事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内  
TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010  
E-mail [keijinfukushi@azarean.jp](mailto:keijinfukushi@azarean.jp)

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。